

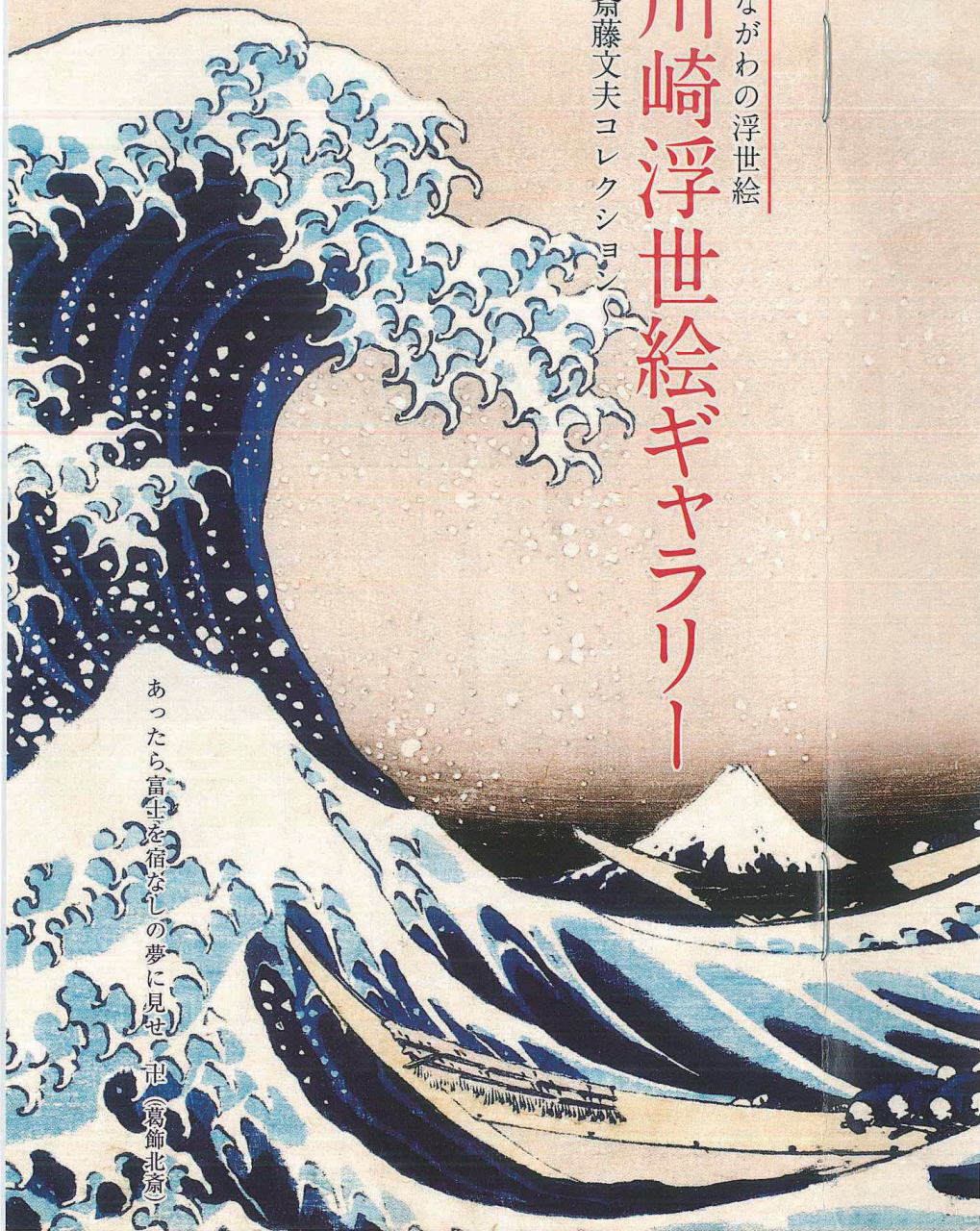
マイウェイ

No.113
2020

かながわの浮世絵
川崎浮世絵ギャラリー
斎藤文夫コレクション

あつたら、富士を宿なしの夢に見せ

祀 (葛飾北斎)



令和2年3月発行

● 発行人 大矢泰好

● 編集人 田村正志

● 発行 公益財団法人はまぎん産業文化振興財団 〒220

8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1

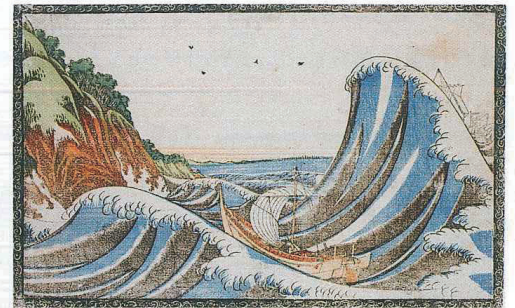
☎045

225

2171 (直通)

(株)神奈川新聞社

(株)DNA



(上) 賀奈川沖本空之図 葛飾北斎 版元不詳

大判錦絵 享和期頃(1801～1804年)

唐草模様の枠をもつ洋風景版画シリーズのうちの一図で、江戸時代多くの船が行き来した本牧の岬(横浜市)あたりを描いたものと考えられます。波や山影に、「板ぼかし」(ほかす部分の版木の角を落として輪郭を柔らかく表現する)の技法を用いて、立体感のある作品に仕上げられています。この絵が下地となって「神奈川沖浪裏」ができたと考えられます。

(表紙) 富嶽三十六景神奈川沖浪裏 葛飾北斎

版元: 永寿堂西村屋与八 大判錦絵 文政(1818～1830)

末期～天保(1830～1845)初期 表紙は“GREAT WAVE”とも呼ばれ、世界中で人気の一枚です。「賀奈川沖本空之図」から「富嶽三十六景神奈川沖浪裏」まで、約30年を経た波の描写の違いに注目してみてください。

新製品の開発中に海外派遣団に参加。 視察中も移動中も新鮮な学びが。 帰国後に新製品をリリース。

第48回神奈川県中小企業技術者等海外派遣団

伊勢原市 (株)竹内型材研究所 叶俊輔さん

「技術者なら挑戦しろ」

ある日、当社の社長から「欧州の製造現場を視察してみないか」と声をかけられました。もちろん二つ返事で飛びつきました。というのも尊敬する技術顧問から常々「初めての

ことでもできないと言いな。技術者なら挑戦しろ」と叩き込まれていたからです。

欧州も初めてですし英語も話せませんが、この海外派遣団は絶対に行くべきだと直感しました。その頃は製造部門のリーダーの一人として

海外派遣事業のご紹介

国際的視野の広い中小企業青年従業員の育成を目的として、神奈川県との共催により昭和45年に「神奈川県中小企業技術者等海外派遣事業」を、また平成元年に「神奈川県商業従業者海外派遣事業」を開始し、継続実施しております。現在まで、中小企業技術者等派遣事業に949名、商業従業者派遣事業に239名の方々が派遣団員として参加されています。応募要領等詳しくは、ホームページをご覧ください。



叶俊輔(かのう・しゅんすけ)

昭和54年生まれ。アニメーターから転身した変わり種の金属加工技術者。ものづくりへの情熱は、対象が平面画でも立体物でも熱い。「子どもと絵を描いたり工作したりする休日何よりの楽しみ」とマイホームVTRの笑顔も見せる。



①火災から復活したクネーベル本社。②後列右から六人目の大柄な男性が同社社長。③クネーベル社を支えるマシニングセンタとCNC旋盤。④様々な工具を使いこなす熟練の作業員。

新製品の開発にも携わっており、勉強できる場があれば何でも吸収したい気持ちだったのです。

鋼の意思を持つ経営者

最初の視察先、ドイツのクネーベル・メタルテヒニーク社では社長のエドガー・クネーベル氏が迎えてくれました。大きな体躯と思慮深い眼差しが印象的です。しかし物静かな相貌の中には鋼はがねのように強い意思がありました。同社は2014年に不慮の火災で社屋が全焼し設備もデータもすべて失いました。社員も離れていく中、社長は挫けるどころか

これを好機と捉え、最新の設備を揃え直して再出発したのです。

社内を歩きながらそんな話を聞きました。社長は高齢のため普段は車イスですが、この日は杖をつき歩いて案内してくれました。日本から来た若輩の技術者に礼を尽くしてくる姿に感銘を受けました。

また「優れた機械と安定供給が信頼を生む」という理念に基づいた積極的な設備投資と、それに連動した独自の人材育成手法で、社員のモチベーション維持を図っているといいます。製造現場には最新の生産設備とともに、防音壁や集塵ダクトが完

第48回神奈川県中小企業技術者等
海外派遣団 視察先

ドイツ

① I.S.H.
(国際見本市：エネルギーと水)

② Knebel Metalltechnik GmbH
(金属木工加工)

世界遺産シュパイヤー大聖堂見学
技術博物館見学

③ Testo SE & Co. KGaA
(環境計測機製造)

メルセデスベンツ資料館見学

チェコ

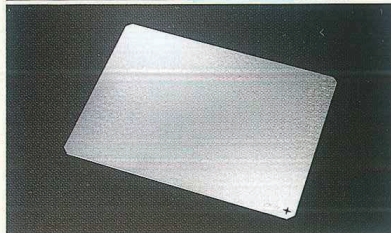
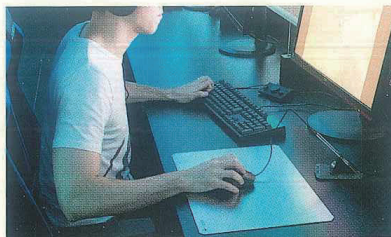
世界遺産プラハ城見学

④ チェコ工科大学 CIIRC
(チェコ版インダストリー4.0関連)

⑤ Skoda Auto A.S.(自動車製造)

⑥ Staubli Systems S.R.O.
(産業ロボット製造)

⑦ CNC Steel S.R.O.
(金属機械加工)



▲新製品の「NINJA RATMAT」は、コンピュータゲームプレイヤー用のハイエンド製品です。日本刀と同じ鋼製の「臨・RIN」「兵・PYO」、マグネシウム合金の「闘・TOU」「者・SHA」の4つのラインナップで発売するや、海外からの問い合わせも殺到するほどの評判に。



竹内型材研究所は、常に「新たな価値の創造」を追求し、金型部品や金型用材料「マストブランド商品」を企画・製造・販売する技術集団です。マスト(MAST)とは、会社設立時の関係会社様の頭文字で、同時にM=前向き、A=明るく、S=しなやかに、T=透明性、を表しています。



「MKG活動」を推進する加工技術チームの面々。MKG活動とは、MAST KANGAERU(考える)活動の略で、K=感(実感・感謝・感受性)、G=カエル(替・変・代・帰)の意味を含む、5Sを基盤とした竹内型材研究所独自のカイゼン活動です。

備され、スタッフの身体への影響を最小限に抑えようという、人を大事にする経営姿勢が見られました。

社内見学の最後に社長が私たちを手招きし視察予定にはない真新しい加工セクションを見せてくれました。最新の工作設備とそこから生み出される製品について、静かながらも力強く話す姿にドイツの誇り高い職人気質を感じました。

当社も独自の金属素材と他社になら加工技術を先輩らが職人魂で作りに上げてきてくれましたが、さらに組織としての強さが必要ではないかと感じているところで、クネーベル社

のものづくりと人作りへの取り組みは模範解答の一つと感じました。

学びがあふれた場

海外派遣団はすべてが学びの場です。視察先だけでなく、バスでの移動中も通訳を兼務してくれるガイド役のコーディネーターが、現地的情勢や産業界のトレンドなどを話してくれます。日頃工場に入り浸りの私には目を見開かされることばかりで、車中でもメモを取り続けました。

海外派遣団は8日間の渡欧だけではありません。視察前の調査から視察テーマの設定、視察後のまとめと

成果発表までのグループワークが学びをより深くしてくれます。この緊張感と圧倒的な情報量はセミナーなどの座学だけでは経験できないものです。帰国後、新製品の開発にも力が入り、昨年10月に当社初のB to C製品としてリリースできました。

海外派遣団は「挑戦」する価値がある成長の機会です。(談)



〔会社情報〕
株式会社竹内型材研究所
代表取締役社長 内山真司
本社：神奈川県伊勢原市鈴川6
(金属プレス工業団地内)
<https://mast-takeuchi.co.jp>